



平成 21 年 11 月 10 日

各 位

会社名 カラカミ観光株式会社
代表者 代表取締役社長 片山 達哉
(JASDAQ・コード9794)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長
西村 孝孔
電話 011-598-3225

カラカミ観光グループ経営改善計画（骨子）について
～ New Karakami Project ～

当社グループは、あらためて自社を取り巻く経営環境や経営課題などの現状をとらえ直し、厳しい経営環境を乗り越え、今後も存在感のある真の観光産業のリーダーを目指して成長・発展していくために、2010年度から2012年度にかけ「経営改善計画書（New Karakami Project）」を作成しました。その骨子は以下の通りです。

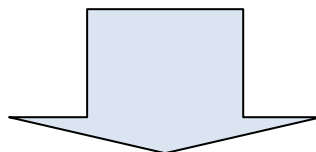
1. 経営改善計画策定の背景

長引く景気の低迷による消費不振、新型インフルエンザ等、観光業界を取り巻く環境は極めて厳しく、収益力を回復させ、安定した経営を取り戻すためには、現状の延長線上の経営から脱皮する必要が喫緊の課題であり、新たに3カ年の「経営改善計画」を策定し、役職員一体となって尽力する所存です。

2. 経営改善計画の基本方針

『抜本的な構造改革の断行による体質強化』

- ホテル事業の「収益力強化」
- 有利子負債圧縮による「財務体質強化」
- 経営管理体制の整備による「組織力強化」



長期的には
お客様から「高い満足」、従業員から「高い意欲・創造性」、社会から「高い信頼」
が得られる、存在感のある真の観光産業のリーダーを目指してまいります。

3. 計画の概要

【1】ホテル事業の「収益力の強化」

北海道地区において一部ホテルの営業形態を転換します。また、大都市圏での営業を強化いたします。一方で、新卒採用の凍結やオペレーション改革により、人件費を中心とした固定費の削減・変動費化を推進いたします。この他、主要施設に重点を置いた設備投資、接客・サービスの改善を行います。

【2】有利子負債圧縮による「財務体質強化」

遊休不動産・投資有価証券の売却等により手元資金を適正化し、有利子負債の圧縮を行います。また、グループ会社の再編により税務上の繰越欠損金を活用した税金費用の削減を行います。以上により、キャッシュ・フローの改善を目指します。

【3】経営管理体制の整備による「組織力強化」

従業員のモチベーションの向上のため、人事・賃金制度の見直しを行います。また、各種施策の実現のため、本社機能を強化する組織体制の見直しを行います。

引き続き、厳しい経営環境が続くものと予想されますが、経営改善計画の実行・達成に向け、上記の3つの柱（【1】～【3】）の推進により、経営陣はじめグループ社員一丸となって計画の達成に全力を尽くしてまいります。

以 上